

## 従業者向け

## 保育所等訪問支援評価表

事業所名		岐阜市立恵光学園		公表日		2026年3月18日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点	改善が必要だと思われる点など	
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問先施設の担任と連携し児の発達や変化に応じて工夫し、適宜に対応している。</li> <li>必要である利用児には補助椅子や絵カードなどを保護者や園に提案している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問支援事業にもICTを活用した支援や支援方法を提案できる方法を探っているとよい。</li> </ul>	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの職務量に無理がないか配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当制であるため、他サービスを利用されたり訪問先の予定などがあり訪問利用日の調整が難しいことがある。</li> <li>今後、ニーズが高まることが予想されるので、先を見越した配置や人材育成をしていく必要がある。</li> </ul>	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に支援会議を行い、利用児の状況の共有や個別支援計画の目標を見直している</li> <li>定期会議を活用して意見を出し合っている。</li> </ul>		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者向け評価表にて意向等を把握し、見直しや改善している。</li> </ul>		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期会議が日々の会議で意見を出し合って、改善を行っている。</li> </ul>		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定療育士の研修に参加させていただき、とても勉強になり貴重な機会をいただきありがたい。</li> <li>園内研修や外部講師を招いて研修を行っており、訪問の際の子どもの見立て方や、担任とのカンファレンスの際に伝えられる事が増えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>勤務時間内に参加することが難しい研修の場合は、平日に休日を振り返るため訪問日の調整が難しくなることがあった。</li> </ul>	
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どものアセスメント、保護者のニーズ、園の環境を鑑みた支援計画を立てている。</li> <li>定期的にモニタリングを行ったり、ノートで保護者からの話を聞き取って個別支援計画を立てている。</li> <li>個別支援会議を行うことで、客観的な視点を取り入れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分かりやすいアセスメントツールを取り入れていくことができると、より客観的に分析ができる。</li> </ul>	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>こどもの支援に関わる職員で支援会議を行い支援計画の検討をしている。</li> </ul>		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問先施設の担当者や担任等にモニタリングへ毎回参加してもらい、こどもの現状を保護者と一緒に共有しそれぞれの意向を教えてもらい盛り込んでいる。</li> <li>訪問先施設や保護者とともに保育所等訪問支援計画を作成している。</li> </ul>		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点	改善が必要だと思われる点など	
適切な支援の提供	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・支援計画の作成に向け子どもの支援に関わる職員で支援会議を行い検討し、支援報告書等で計画に沿った支援が行われているか確認している。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・子どもの行動観察を行い、状況や成長を確認している。 ・心理士が発達検査を実施し、アセスメントを行っている。	・発達検査や知能検査以外のアセスメントツールも活用できると良い。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・保育所訪問支援ガイドラインをベースに、子どもや保護者、訪問先施設の状況に合わせて支援内容を設定している。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・支援報告書や支援会議にて共有している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・訪問時に担任より今日の予定や、最近の対象児の様子を教えてもらって支援に活かしている。 ・訪問開始時に訪問先の先生と打合せを行い、協力して支援を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・報告や話し合いを行い、支援方法や気になる点を共有し、解消に努めている。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5	0		・訪問先施設の方針は把握しているが、担任や担当職員によって支援手法や考えが違うことがある。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋がっているか。	5	0	・記録を徹底することで、支援の振り返りや、職員間で支援方法や子どもの姿を共有している。 ・記録の効率化ができるように改善している。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・保育所等訪問支援計画を見直す時は、子どもをアセスメントし、保護者や訪問先施設と個別支援会議を行い作成している。	
関係機関や保	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・子どもと実際に関わっている訪問支援員が出席している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2		・保健については、不十分なため連携を取っていく必要がある。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	・保護者の了解を得て就学相談会用資料を作成し、保護者が持参している。	・訪問員が直接就学先と情報共有はしていない。訪問先施設が希望した時は、保護者の了承を経て一緒に引継ぎを行っている。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	5	0	・支援に関連する研修に参加している。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	2	・施設全体で積極的に参加している。今年は訪問支援担当者が架け橋期支援会議に参加している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点	改善が必要だと思われる点など
護者との連携	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・訪問ノートを担当と保護者、訪問員とで記入し共通理解や情報共有に繋げている。特に気になる点については電話を用いて、タイムリーに共有し、保護者の相談にも応じている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	・保護者に年2回ペアレント・トレーニングの研修を案内した。2名の保護者がペアレント・トレーニングの研修に参加され、子どもの姿を行動で捉え環境を整え、伝え方褒め方を工夫し子どもの成長に繋がった。保護者自身も手ごたえを感じ、日々生活の中で児の捉え方や関わり方が変わった。	・就労している保護者は参加しにくいことがある ・保護者が参加できるような研修などの案内もできるとよい。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4	1	・今年度、訪問先施設用の保育所等訪問支援事業の説明用案内を作成し、活用している。	・趣旨や目的は適切に説明を行っていたが、訪問する中で、対象児の課題や困り感が多くなり、個別支援計画で決めた訪問回数より多く訪問してしまったことがある。 ・事業の趣旨や訪問支援の目的などについては定期的にモニタリングの時などに再度説明を行っていくとよい。 ・保育所等訪問支援ガイドラインに沿って内容を見直したことについて、以前からの訪問先施設には改めて説明をしていなかったため、これから説明をしていく予定である。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	3	・モニタリング(個別支援)会議で保護者の意向などを確認できている。	・支援する中で子どもの意向を聞きながら行っているが、改めて子どもの意思の尊重などを聞き取る機会は設けていない。 ・ことばで表現が難しいこどもの願い計画に入れてくことができるよう、こどもの視点に立った計画になっているか確認が必要である。 ・小学校の支援は、子どもや家族の意向をに合わせて訪問期間の延長が難しいため、学校との引継ぎを丁寧に行う必要がある。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	1	・必要に応じて電話等で相談の機会を設けたり、懇談を行っている。	
32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	3	・今年度から開催したペアトレに参加した保護者は交流できる機会があった。	・今年度からペアレント・トレーニングに参加していただいていたが、保護者学習会など保護者同士の交流が期待できる機会の案内もしていけると良い。	
33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・施設に来園していただいたり、訪問先施設の場を借りて懇談を行っている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点	改善が必要だと思われる点など
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	4		・取り組みの発信が少ないため、今後は地域支援の取り組みとして発信していくようにする。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・学園を出る前、帰ってきた際に、個人情報の持ち出しチェックを受けている。 ・訪問ノートは鍵付きの袋を使用している。 ・実績記録票は、鍵付きの袋を使用して保護者とやりとりしていたが、メールを使用して持ち出さないようにした。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・保護者と意思疎通等しやすいように通訳を準備した。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5	0	・訪問先施設からの相談には、訪問員や児童発達支援管理責任者や心理士などが相談に応じている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5	0	・担任がカンファレンスができるよう、代わりの職員がクラスに入るなど協力していただける訪問先施設が多い。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5	0	・訪問ノートでのやりとりに加え、必要に応じて電話等で保護者に伝えている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・2名の上席の許可を得て個人情報を持ち出し、外出中の保管は鍵付きの袋を使用し戻った後に2名の上席の点検を受けている。 ・家庭との受け渡しは常時鍵付き袋を利用し、中継ぎを担う担任等に手渡ししている。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5	0	・訪問先施設からの相談には、訪問員や児童発達支援管理責任者や心理士などが相談に応じている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・訪問先での訓練に参加する機会がある。 ・児童発達支援と一緒にしている。訪問先施設では、訪問先の施設に合わせた支援を行い、訓練に参加している。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・児童発達支援事業所と合同で行っている。訪問時は、訪問先施設の避難訓練等に参加している。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・児童発達支援事業所と合同で行っている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・児童発達支援事業所と合同で行っている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0		